

1. 事業説明シート

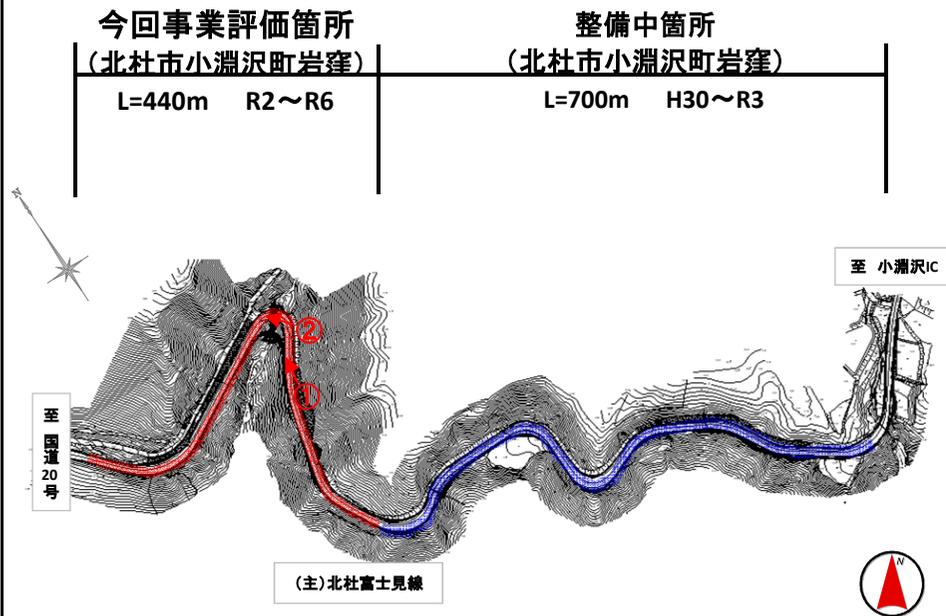
<b>事業名</b>	道路事業〔緊急道路整備改築事業（国補）〕	<b>事業箇所</b>	北杜市小淵沢町岩窪	<b>地区名</b>	（主）北杜富士見線（松木坂工区）	<b>事業主体</b>	山梨県
------------	----------------------	-------------	-----------	------------	------------------	-------------	-----

<p><b>(1) 事業の概要</b></p> <p><b>①課題・背景</b>                  主要地方道北杜富士見線は、北杜市高根町清里と長野県諏訪郡富士見町を結ぶ全長約26kmの主要地方道で、八ヶ岳南麓の観光道路や中央自動車道小淵沢ICへのアクセスとして機能する重要な路線である。また、大雪などの異常気象時に中央自動車道が通行止めとなる際には、小淵沢ICが規制区間の起終点となることが多く、小淵沢ICと国道20号を結ぶ区間が国道20号へのアクセスとなる。                  しかしながら、当該区間は、カーブが連続し勾配も急なため走行性が悪い上に、幅員も狭いことから大型車のすれ違いが困難な箇所が存在する。このことから、走行性や安全性の確保を目的としてH30年度より一部区間において道路改良事業を実施してきており、現在実施中の事業が令和3年度に完成する見込みとなったことから、残る区間の道路改良事業を引き続き計画するものである。</p> <p><b>②整備目標・効果</b></p> <p>□主要目標 ○災害に強い道路の確保                  危険度：耐震未補強                  損傷度等：橋梁対策区分C                  緊急輸送道路の指定：有り（第二次緊急輸送道路）                  自動車交通量：1,607台/12h（H27センサス）&lt;3,428台/12h※以上                  ※評価基準値</p> <p>□副次目標</p> <p>□副次効果 ○アクセス機能の維持                  （1カ所の通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要）</p> <p><b>(2) 整備内容</b></p> <p>①整備内容 道路改良 L=440m W=5.5（7.0）m                  ②着手年度 令和2年度                  ③完成見込年度 令和6年度                  ④総事業費 約300百万円                  （国費159百万円（5.3/10） 県費141百万円（4.7/10））                  ⑤年度別の整備内容（事業費）                  令和2年度 測量、設計 50 百万円                  令和3年度 用地買収 20 百万円                  令和4～6年度 道路改良工事、橋梁下部工、橋梁上部工 230 百万円                  ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。                  ⑥既整備内容・期間・事業費                  ・整備中事業 道路改良 L=700m W=5.5（7.0）m                  ・期間 H30～R3                  ・事業費 0.95億円</p>	<p><b>(3) 事業の妥当性評価</b></p> <p>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <span style="float:right">○ <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない</span>                  第二次緊急輸送道路にも指定されており、社会的受益は大きく、極めて公共性が高い。</p> <p>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <span style="float:right">○ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></span>                  県道の改築であり、道路法第15条により、県が行うべき事業である。</p> <p>③経済妥当性 <span style="float:right">○ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></span></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>300 百万円</td> <td>工期</td> <td>R2～R6</td> <td>基準年</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>281 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">647 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>241 百万円</td> <td>走行時間短縮</td> <td colspan="2">616 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>40 百万円</td> <td>走行費用減少</td> <td colspan="2">21 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少</td> <td colspan="2">10 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td colspan="4">2.3</td> </tr> </table> <p>費用便益比（B/C）は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <span style="float:right">○ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></span>                  整備中箇所に隣接した必要最低限の範囲について改良を計画した。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <span style="float:right">○ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></span>                  現道敷地を有効活用することで周辺への影響をなるべく小さくするとともに、経済性に優れた最も妥当な計画とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <span style="float:right">○ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></span>                  法面切り土及び掘削を必要最小限に抑え環境面に配慮する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <span style="float:right">○ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></span>                  地元から事業の早期実施の要望あり。</p> <p style="text-align: center;"><b>総合評価</b> <span style="float:right">[貢献度ランク：a]</span></p> <p><b>(4) 事業位置図等</b></p> <p><b>凡例</b>  <span style="color:red">■</span> 今回事業評価箇所  <span style="color:blue">■</span> 整備中箇所</p>	総事業費	300 百万円	工期	R2～R6	基準年	R1	経済効率性	費用	281 百万円	便益	647 百万円		建設費	241 百万円	走行時間短縮	616 百万円		維持管理費	40 百万円	走行費用減少	21 百万円				交通事故減少	10 百万円				その他※	百万円		B/C		2.3			
総事業費	300 百万円	工期	R2～R6	基準年	R1																																		
経済効率性	費用	281 百万円	便益	647 百万円																																			
	建設費	241 百万円	走行時間短縮	616 百万円																																			
	維持管理費	40 百万円	走行費用減少	21 百万円																																			
			交通事故減少	10 百万円																																			
			その他※	百万円																																			
B/C		2.3																																					

## 2. 添付資料シート

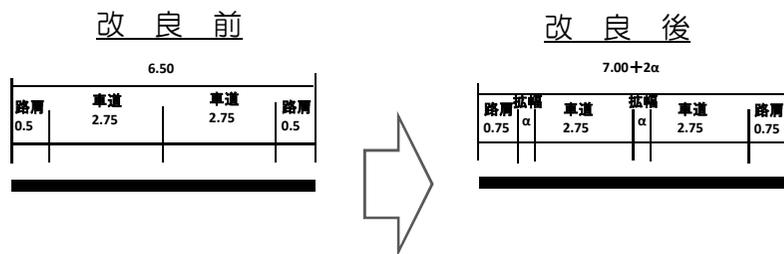
【平面図】



凡例

- 今回事業評価箇所
- 整備中箇所

【標準横断図】



【写真①既設桥梁の損傷状況】



【写真② 災害発生時の状況】

